



聞いてみなんせ まことの道を 無理なおしえじゃ ないわいな
きのう聞くのも 今日また聞くも ぜひに来いとの およびごえ

六連島のお軽さん



3月4日(日)還暦のつどいを持たせていただきました。今年は、昭和32年の対象の方3名がご参加されました。本堂で「讃仏偈」のおつとめの中順次ご焼香、続いて教化団体の会長さんの焼香。住職法話、記念品授与記念撮影をしました。庫裡に移動して祝賀会です。



3月10日(土) 仏教壮年会例会。
吉井会長より事業内容について報告、横山会計より報告がされ
新年度に向けての話し合いが持
たれました。おたがいのでのい、ふれあいを楽しむ時間を多くつくり、参加しやすい雰囲気づくりをもっていこうとの
話が出されました。5月26日(土)に総会を開催します。



3月31日鈴鹿組佛教婦人会総会・研修会が存仁寺本堂でもたれました。養宗寺杉谷さん声調による「讃仏偈」、

存仁寺副組長、丸橋会長挨拶後、総会で事業報告、会計報告、次年度計画案、予算案の審議。コーヒーとケーキのひと時後、「『念佛者の生き方』に学ぶ」と題してご法話を味わいました。次期役員さんは昼谷地区。



芸濃地区の
役員皆さま
お疲れさま
でした。



桜花爛漫花咲く春が駆け足
で訪れてまいりました。
3月26日には西勝寺様にて
「ちひろトークコンサート」
の催しに存仁寺法喜コーラスの一員として私も聴聞
させていただくご縁に預かり出席させて頂きました
ほんとうに有難うございました。西勝寺様のご立派な
お御堂満席の中、金子みすず様のお念佛の心の詩を
ちひろ様の美しい容姿
からお声、トークと総て
に陶酔し心の靖ぎおぼえ
感動し楽しく尊い刻を過
ごさせて頂きました。



合掌 落合登代子

無量寿会例会 3月は会員追悼法要でした。井関会長のご挨拶、「仏説阿弥陀経」を皆さんでおつ

とめ、順次ご焼香です。休憩では、桜餅をいただきました。住職法話では、人生の節目、長寿の心得のお話でした。ほのぼののタイムでは、井関会長が、お手玉、おはじき、めんこ、こま、紙ふうせん、けん玉、ビー玉、竹とんぼなど懐かしい遊びを持ってこられました。しばらくは、童心に

戻ったように皆さんで楽しみました。4月5日(木)は、はなまつりと総会です。

無量寿会は、宗派もお寺も関係なくどなたでも参加していただけます。

ご一緒に、楽しいひと時を持ちましょうよ。ご参加お待ち申しております。



今年の北海道の冬は、特に札幌は雪が少なくて玄関前の雪捨て回数が少なくて良い年だなと思つていきましたが、2月末から3月初めに懸けて大雪が降りました。何故この時期にと思わざるをえない程に雪が降りました。結局は例年通りの降雪量でした。その大雪も、ここ数日の気温上昇にて雪解けが進んでいます。トコロニ依つては雪解け水に依る災害も多発しています。ところで、最近は、自分の過去を見直すチャンスに遭い、その場面を書き残すことがあります。昭和60年末に、時の上司との軋轢から、何の取引も無い名古屋の会社へと出向に出されました。その時分に同社が北海道へ進出する計画があり、その先兵として、その任が私に下り、千歳の第三工業団地の板金屋の跡地に工場を構えました。社員は私と、自衛隊を退任した五〇代の男性二人でした。彼に会社の留守番を頼み、私は会社の販売品を持って、全道に拡販に歩きました。少しづつですが実績も数字と為つて表れましたが、取扱い製品を北海道でも製造することになり、早急に、その準備をすることを仰せつかり、会社に寝泊まりしながら、その準備を整えました。製造会社としての体制を整え、冬を迎える社員の待遇を考えた時に、名古屋の本社には無い、北海道在勤手当(石炭、暖房手当)の支給を、社長にお願いしたところ、意外な言葉が飛び出しました。「寒かつたなら一枚多く着れ」と「てめえの蠅も追えないくせに」社長が言われる言葉のアクセントが名古屋弁で、私には可笑しく聞こえました。熱心に社長に掛け合い、私の籍がある会社は、支給している旨を伝えたところ社長のブライドに火が点いたのか、支給を認めてくれました。もちろん、将来を期待してのことだったと思います。その社長も往かれました。懐かしい話になりました。

北海道大島義勝さん

「てめえの蠅も追えないくせに」

鶴姫の

龍にゆられて

嫁ぎゆく

田丸のお城は

春のおとづれ

春風に

桜花まひ那る

山寺の

庭いち面に

朝日さしくる

春風に

ふはりふはりと

誘はれて

花の胞子は

いづこかへ飛ぶ

東京 小笠原孝枝さん

「北海道の生活事情と、他社での対応を紹介した私の籍が有る会社の対応状況を紹介したところ期待以上の強気回答が社長の口から飛び出したお前の籍が有る日本会社と、同じ金額を支給する社長の言葉に、将来を期待する気持ちが見えた

一採用した社員の待遇の改善を、出向先の社長に掛け合つたところ意外な言葉が返つて来た

「寒かつたなら一枚多く着れ」「てめえの蠅も追えないくせに」

思いもしなかつたが、名古屋弁が可笑しかった

「てめえの蠅も追えないくせに」「か・・・

あの名古屋弁の社長も今は居ない、先に往つた

言葉は汚いが、心の大きな丁社長が懐かしい。



卯月の句

ほひゑ
ほひゑ

春光に阿弥陀の御顏も微笑ぬ

見上げれば明日咲く桜の蕾かな

菩薩の立ち朝食や春はそこ

待春の樹林けぶらせ雨止む

割箸のシヤツと割れ(櫻満ち)

九十路や今年の桜賞(うきわ)が

秋か影の波まれそう故春月光

喜食喜伏子

今大切なことは
かそでなく
一呼吸、一呼吸の今である

桜舞
那由他の刻の絹扇
梅田コマ劇場にて 村子

今大切なことは
かそでなく
一呼吸、一呼吸の今である

朝倉市 森田瑛子さん

札幌市大島光子さん